

事業報告

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

I 会社の現況に関する事項

1. 全体の状況

当期我国の経済は、平成20年度以降の金融危機による景気低迷から回復しつつあります。しかし、地方経済は依然として厳しい状況が続いており、また雇用情勢も低迷しております。

当社は、開業25周年を大きなテーマとして安全運行と利用者の確保に一年間取り組んでまいりましたが、高速道路利用料金の大幅な値下げによる個人観光客の減少や、マイカーシフトによる収入減は大きなものがありました。しかし、JR等との提携による企画乗車券により減収分を補うことができました。

10月以降には新型インフルエンザの流行、さらにチリ地震の大津波警報発令による運転見合せにより大幅な影響を受けました。

また、定期客は釜石商業高校統合により大きく減少した他、他の地域でも沿線の高校への列車利用が減少したことから厳しい状況となりました。

表1、経常収入・経常利益の状況

(単位：千円)

項目	20年度 実績	21年度 計画	21年度 実績	前年増減	同増減比	計画増減	同増減比
鉄道事業収入	355,861	373,000	343,300	-12,561	-3.53%	-29,700	-7.96%
運輸雑収	34,564	34,600	33,236	-1,328	-3.84%	-1,364	-3.94%
関連事業収入	44,876	40,700	51,278	6,402	14.27%	10,578	25.99%
経常収入	435,301	448,300	427,814	-7,487	-1.72%	-20,486	-4.57%
経常費用	580,440	589,598	562,994	-17,446	-3.01%	-26,604	-4.51%
経常損益	-145,139	-141,298	-135,179	9,960	-6.86%	6,119	-4.33%
特別利益	290,347	389,948	432,510	142,163	48.96%	42,562	10.91%
特別損失	182,817	228,760	272,482	89,665	49.05%	43,722	19.11%
当期利益	-39,794	17,690	22,349	62,143	156.10%	4,659	26.34%

2. 営業の概況及びその成果

表2、輸送実績

(単位：人/千円※税込)

項目	当期実績	前年実績	増減
乗車人員	895,570	977,439	-81,869
運輸収入	360,465	373,654	-13,189
(一般個札)	(183,613)	(193,588)	(-9,975)
(定期券)	(100,106)	(112,385)	(-12,279)
(地元団体)	(16,948)	(17,848)	(-900)
(観光団体)	(59,798)	(49,833)	(+9,965)

■安全安定輸送への取組

- ・施設＝橋梁の要注意箇所（4箇所）を改修
木マクラギをPCマクラギに交換し保守費の削減をはかる（南北各1区間）
橋梁、トンネルの安全評価調査を実施し改修計画を策定
- ・車両＝自動列車停止装置と制動装置改良（3両）
- ・車両故障時の救援列車運転を想定した実車訓練
- ・4/1よりアルコール検知器導入
- ・「安全を考える日」に全社員非常呼集訓練

■鉄道事業営業概況

(企画列車運行)

- ・さんりくトレイン北山崎号を4月～10月に運転
- ・一般客向けに産直列車を春と秋の連休に運転
- ・リアスシーライナーを7月5本運転
- ・こたつ列車の運転期間を延長（従来2月までを3月までに）により利用が増加

(利便性及び収益向上)

- ・JR3連休パスに当社組込みを実施
- ・JR東日本と東北の地方鉄道による東北ローカル線パスを発売
- ・クルーズ客船のオプションツアーへの組込み営業を実施
- ・こたつ列車のエージェント団体大幅増（H20 9件⇒H21 57件）

(各種イベント)

- ・4/18宮古市で開業25周年記念式典を開催
- ・7/19大船渡市盛駅でJR・岩手開発鉄道と共同で3鉄まつりを開催
- ・11/1久慈市で鉄道むすめをテーマに「秋のさんてつ祭」を開催

(その他)

- ・7/20南リアス線「小石浜駅」を「恋し浜駅」に駅名改称
- ・9月北リアス線で4名、2月南リアス線で2名アテンダントデビュー
- ・22年10月設置予定の山口新駅に係る住民説明会実施
- ・2月より南リアス線でご当地ガイド乗車スタート

■関連事業営業概況

(物産企画)

- ・開業 25 周年にあわせた記念グッズの開発販売
- ・お歳暮、お中元で新たな地元特産品を発掘し商品アイテムを拡大
- ・鉄道むすめキャラクターを活用した新商品の開発販売
- ・「美味非常食」、「きっと芽がでるせんべい」などの新オリジナル商品の開発販売

(旅行業)

- ・一般募集团体＝恐山参拝団、志戸平湯治の旅
- ・「飛鳥Ⅱ」、「日本丸」等大型客船クルーズのオプションツアーの誘致
- ・第 2 回地旅大賞（全日本旅行業協会主催）で優秀賞受賞

対処すべき課題

全国的に見ると人口減少や少子高齢化の著しい進行により、一部の大都市圏沿線を除いて鉄道利用者の減少は厳しいものがあります。

当社は、①地域の生活路線として、住民の足を確保する、②観光路線として全国各地から三陸においていただき、地域観光振興に寄与する、この 2 本の柱を中心に国・県・市町村等から様々なご支援をいただきながら、地域になくってはならない鉄道を目指して参ります。

当社は、現状の経営環境を踏まえつつ、安全安定輸送・利便性確保を軸に投資計画・経費構造を抜本的に見直した「鉄道事業再構築実施計画」を策定し、平成 21 年 11 月に国の認定を受けました。これにより鉄道設備の維持に必要な経費に対して「設備維持補助金」を受け（経費上の上下分離）、①安全・便利な輸送サービスの確保、②利用促進等による収入の確保、③適切な経費管理の 3 点を基本に経営を改善し、収支均衡や会社の維持存続を図ることとしております。

計画目標達成に向け、全社員の総合力を結集し、県・市町村との連携を深めながら、着実に実施してまいります。

また地域の生活路線として、顧客や他の交通事業者等との調和を重視し、岩手ブランドとしての「三陸地域を象徴する事業者」として企業価値の向上に全力を尽くし、鋭意努力して参ります。

3. 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は 229,090 千円であり、その内容は次のとおりです。

・鉄道輸送高度化事業

【設備】 82,090 千円（橋梁改修、マクラギの PC 化、橋梁・トンネルの安全調査）

【車両】 147,000 千円（車両改良、ATS 改良、3 両）

4. 資金調達の状況

該当する事項はありません。

5. 直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度
	(第26期)	(第27期)	(第28期)	(第29期)
営業収益	435,305千円	446,631千円	413,711千円	423,532千円
当期純利益	△3,471千円	8,534千円	△39,794千円	22,349千円
1株当り当期純利益	△115円	284円	△1,326円	744円
総資産合計	432,600千円	438,142千円	505,610千円	632,085千円

6. 当該事業年度の末日における主要な事業内容

- ・鉄道事業法による第1種鉄道事業およびこれに付帯関連する事業
- ・旅行業法による第2種旅行業
- ・物品販売業

7. 当該事業年度の末日における主要な事業所等

本 社	盛岡市内丸10番1号
事業所 ・ 宮古本社	宮古市栄町4番地
宮古駅	同上
・ 北リアス線運行本部	久慈市川崎町10番20号
久慈駅	久慈市中央3丁目38番2号
・ 南リアス線運行本部	大船渡市盛町馬場4番4号
釜石駅	釜石市鈴子町22番5号
盛 駅	大船渡市盛町字東町裏16番

※市町村等への業務委託駅 陸中野田駅・普代駅・田野畑駅・島越駅
小本駅・田老駅・三陸駅・綾里駅

8. 従業員の状況

区 分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
男 子	63名	43.9才	19年6ヶ月
女 子	2名	41.0才	1年9ヶ月
計	65名	43.8才	19年0ヶ月

(注) 上記には、JR東日本からの出向従業員1名(3月31日退職)とふるさと体験学習協会への出向者1名を含んでおります。

この外に、臨時雇用従業員が28名おります。

9. 親会社等に関する事項について

当社は、岩手県および岩手県内市町村から発行済み株式総数の75.3%(22,600株)の出資を受けております。

※ 岩手県48%(14,400株)

沿線市町村19.3%(5,800株) 沿線外市町村8%(2,400株)

当社は、岩手県知事が会長に就任しております。

II 株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 100,000株

2. 発行済株式の総数 30,000株

3. 当事業年度末の株主数 46名

4. 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
岩手県	14,400株	48.0%
宮古市	1,350株	4.5%
(株)岩手銀行	1,200株	4.0%
大船渡市	1,150株	3.8%
新日本製鐵(株)	1,000株	3.3%
東北電力(株)	1,000株	3.3%
一関市	700株	2.3%
久慈市	650株	2.2%
釜石市	650株	2.2%

Ⅲ 会社役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏 名	他の法人等の代表状況等
取締役会長	達 増 拓 也	岩手県知事
取締役副会長	山 本 正 徳	宮古市長
取締役副会長	甘 竹 勝 郎	大船渡市長
取締役副会長	山 内 隆 文	久慈市長
取締役副会長	野 田 武 則	釜石市長
代表取締役社長	山 口 和 彦	
取 締 役	谷 藤 裕 明	盛岡市長
取 締 役	伊 達 勝 身	岩泉町長
取 締 役	上 机 莞 治	田野畑村長
取 締 役	深 渡 宏	普代村長
取 締 役	小 田 祐 士	野田村長
取 締 役	上 野 晋 吾	岩手開発鉄道㈱ 代表取締役社長
取 締 役	大 井 誠 治	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
取 締 役	宮 舘 壽 喜	岩手県副知事
取 締 役	加 藤 主 税	岩手県地域振興部長
監 査 役	永 野 勝 美	㈱岩手銀行 特別常任相談役
監 査 役	佐 藤 安 紀	㈱北日本銀行 代表取締役頭取

2. 取締役または監査役ごとの報酬等の総額

取締役の報酬総額 4,720千円

監査役の報酬はありません。

Ⅳ 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。